

# WiFi シリーズ NVR

## クイックスタートマニュアル

## 改訂履歴

日付	バージョン	説明
2023/6/1	23.06.D.00	初版
2023/6/22	23.06.Y.01	画像差し替え:P4~15、P17~19、P21~22 章削除:スマートモーションディテクション、ライブビュー、 録画再生、WEB へのログイン、WiFiNVR 章追加:1-4-1Wi-Fi シリーズ IP カメラの接続
2023/7/7	23.06.Y.02	内容追加:1-6DMSS 操作、1-4-4SSID 追加
2023/7/18	23.06.Y.03	内容追加:1-2 スタートアップ追加

# 目次

## 内容

1. ローカル操作.....	4
1-1. NVR の起動.....	4
1-2 NVR の初期化.....	4
1-3 ネットワークの設定.....	8
1-4 IP カメラの追加.....	10
1-4-1 Wi-Fi シリーズ IP カメラの接続.....	10
1-4-2 IP カメラの初期化.....	13
1-4-3 検索結果による IP カメラの追加.....	16
1-4-4 IP カメラを手動で追加する.....	16
1-5 録画ビデオの保存スケジュールの構成.....	21
1-6 P2P 設定の構成.....	23

## 1. ローカル操作

**!** モデルによってはインターフェースに若干の違いが見られる場合があります。以下の数値は参照のみ。実際の製品が優先されます。

### 1-1. NVR の起動

操作を開始する前に、次のことを確認してください。

- 定格入力電圧は NVR の電力要件に一致します。
- 電源線の接続が正常。
- 最初に NVR を電源アダプタに接続してから、電源に接続します。
- 常に安定した電流を使用してください。電源として UPS を使用することをお勧めします。

### 1-2 NVR の初期化

このトピックでは、使用前に NVR を初期化する方法を示します。

- ・初めて起動するときは、admin(デフォルト) のパスワード情報を設定する必要があります。
- ・ログイン情報は忘れないように必ずメモをしておくことを推奨いたします。
- ・パスワードを変更し、定期的に変更します。

手順

- ステップ 1 NVR の電源をオンにします。システムはデバイス初期化インターフェイスに入ります。  
ステップ 2 必要に応じて、ドロップダウン リストから「ロケーション、言語、映像規格」を選択します。

**!** これらの設定は、初期化後に NVR の設定ページで変更が可能です。

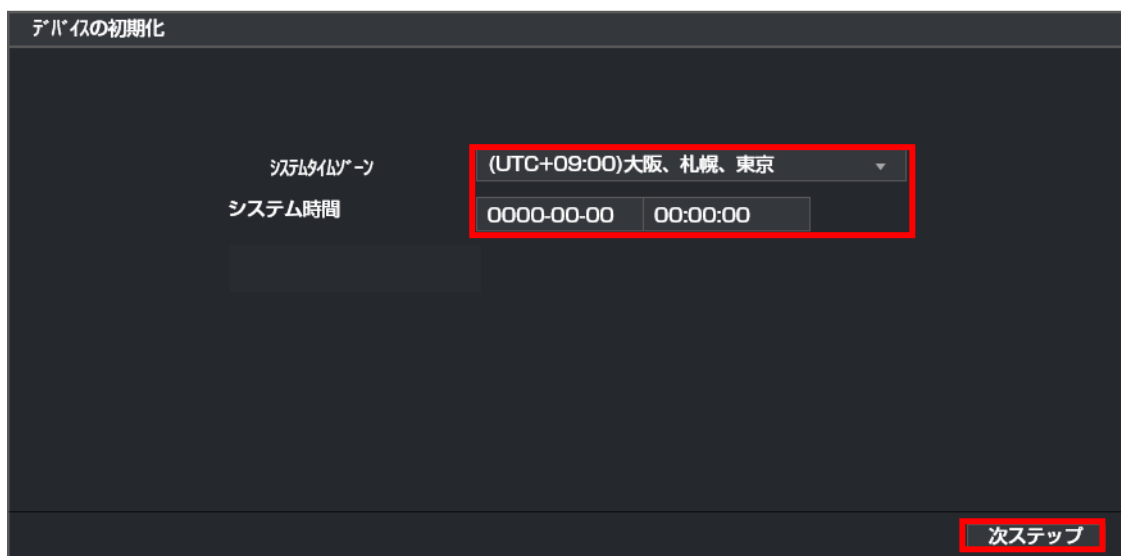
図 1-1 場所、言語、ビデオ標準の設定



ステップ 3 [次ステップ] をクリックします。

ステップ 4 システムタイムゾーンを選択し、システム時間を設定し、[次ステップ] をクリックします。

図 1-2 タイムゾーンとシステム時刻の構成



ステップ 5 デバイス管理者のパスワード情報を設定し、[次ステップ] をクリックします。

図 1-3 パスワード情報の構成

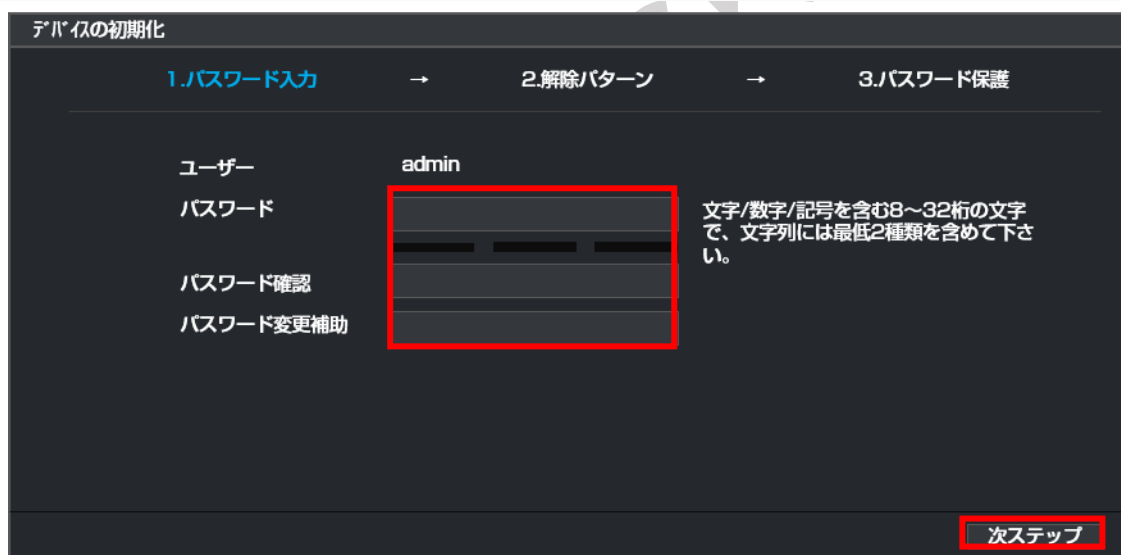



表 1-1 パスワード情報

パラメータ	説明
ユーザー	デフォルトでは、ユーザーは管理者であり、変更できません。
パスワード	「パスワード」フィールドにデバイス管理者の新しいパスワードを入力し、次のフィールドでパスワードを確認します。
パスワード確認	新しいパスワードは 8 文字から 32 文字まで設定でき、数字、文字、特殊文字のうち少なくとも 2 種類が含まれます文字（「'」、「”」、「;」、「:」、および「&」を除く）。
パスワード変更補助	パスワードを思い出すのに役立つ質問を入力してください。ログインインターフェイスで、  をクリックすると表示されます。

ステップ6 マウスを使用してロック解除パターンを描画します。確認のために再度描画します。  
ログイン時にマウスジェスチャーを描画すればパスワード入力を省略できます。

図 1-4 ロック解除パターンの描画

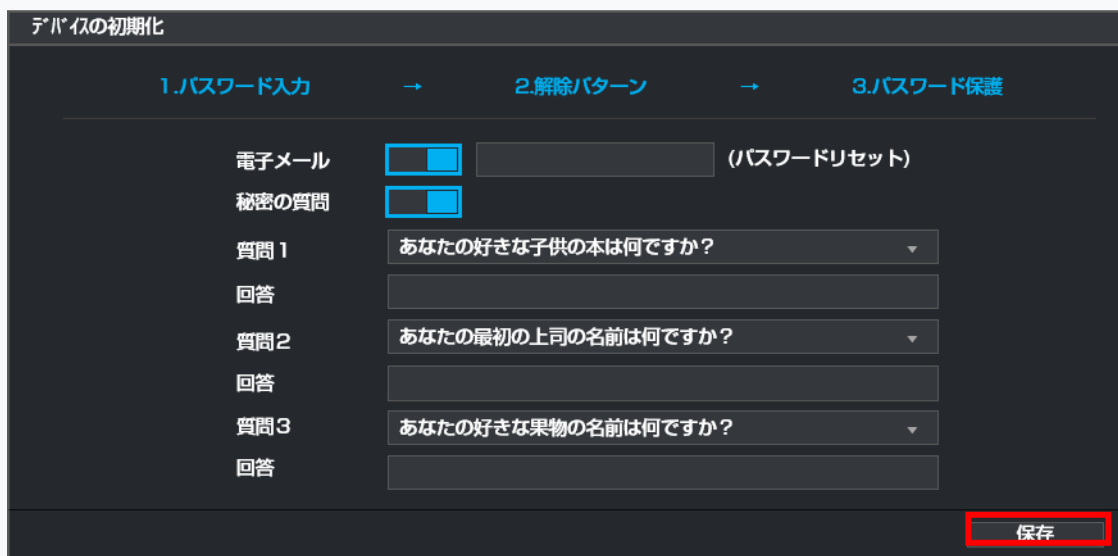


- 設定するパターンは少なくとも 4 点以上交差する必要があります。
  - ロック解除パターンを設定しない場合は、「スキップ」をクリックします。
  - ロック解除パターンを設定すると、それがデフォルトの認証方法として使用されます。
- この設定をスキップする場合は、ログイン用のパスワードを入力してください。

ステップ7 「電子メール」と「秘密の質問」を設定します。

- 電子メールを有効にし、電子メールアドレスを入力します。  
※電子メールアドレスはパスワードの再発行に使用します。不要であればオフにします。
- 秘密の質問を有効にし、質問のドロップダウン リストから質問を選択します。  
1、質問 2、質問 3 を選択し、それらの質問に対する答えを入力します。  
※電子メールアドレスはパスワード忘れの際に使用します。不要であればオフにします。

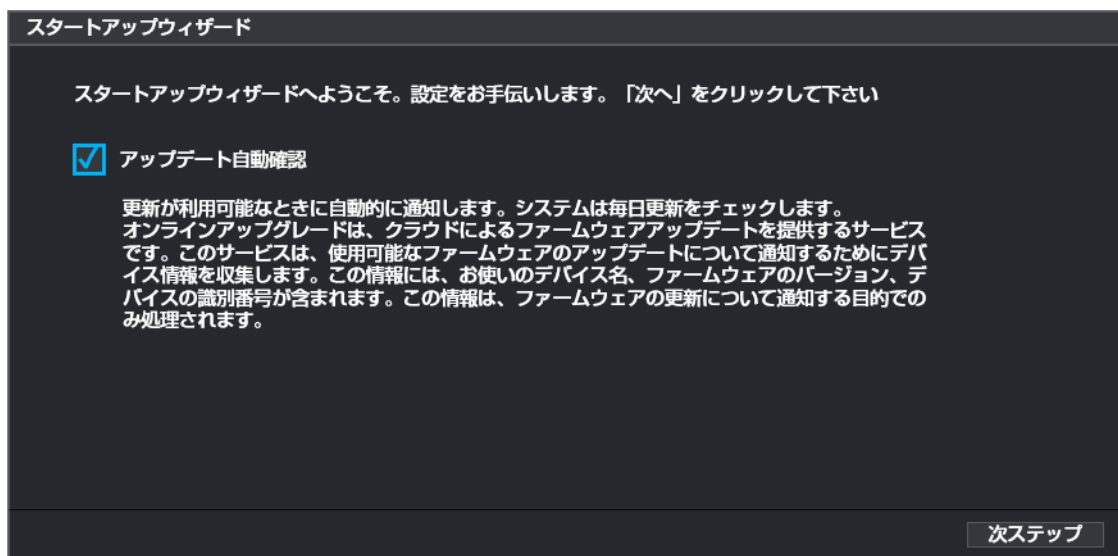
図 1-5 予約済みの電子メールと秘密の質問を適用する



ステップ8 [保存] をクリックします。

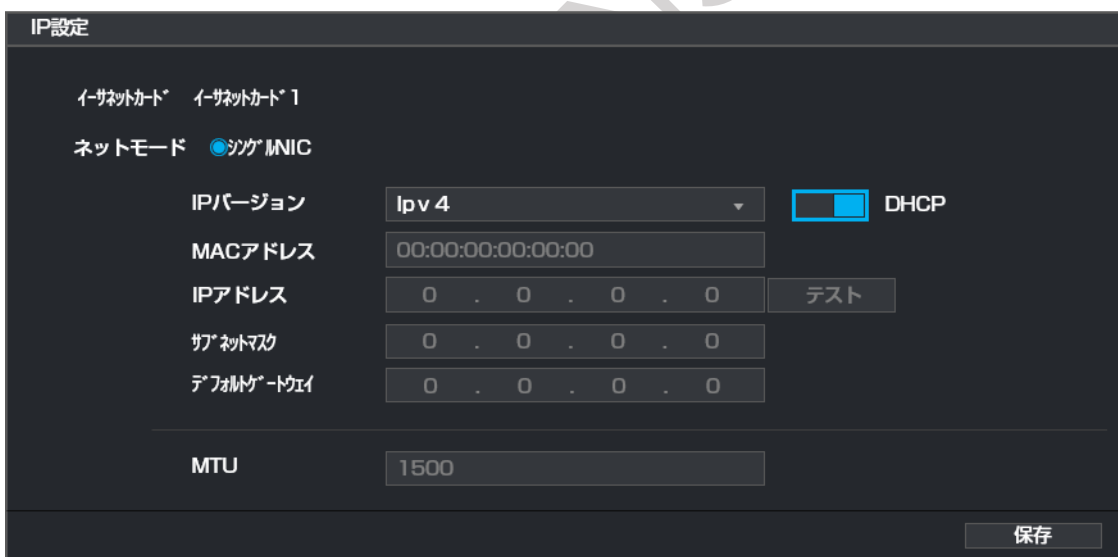
ステップ 9 アップデート自動確認を設定し[次ステップ]をクリックします。

図 1-6 スタートアップウィザード



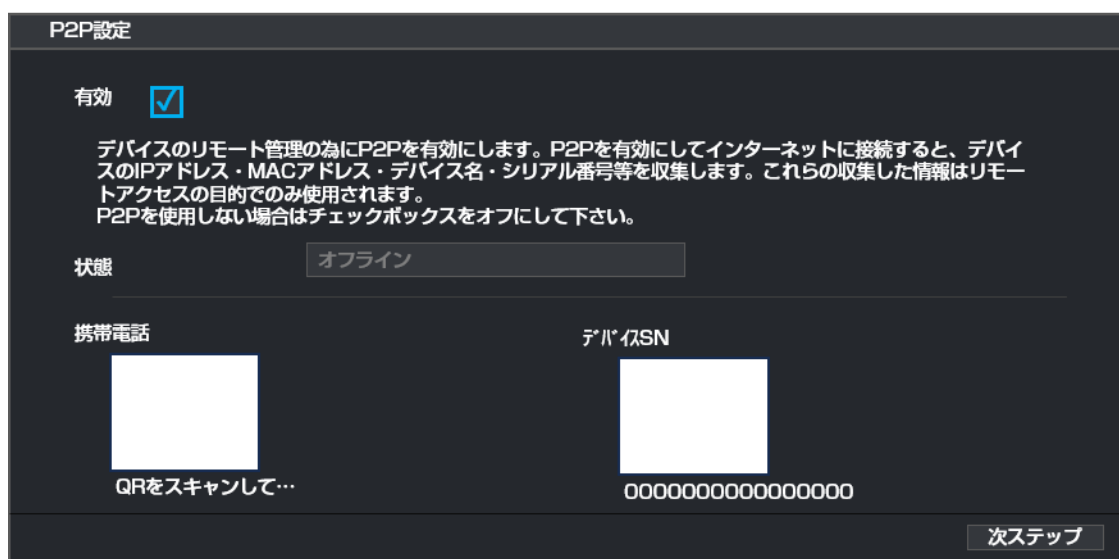
ステップ 10 IP アドレス等を設定し[保存]をクリックします。

図 1-7 IP 設定



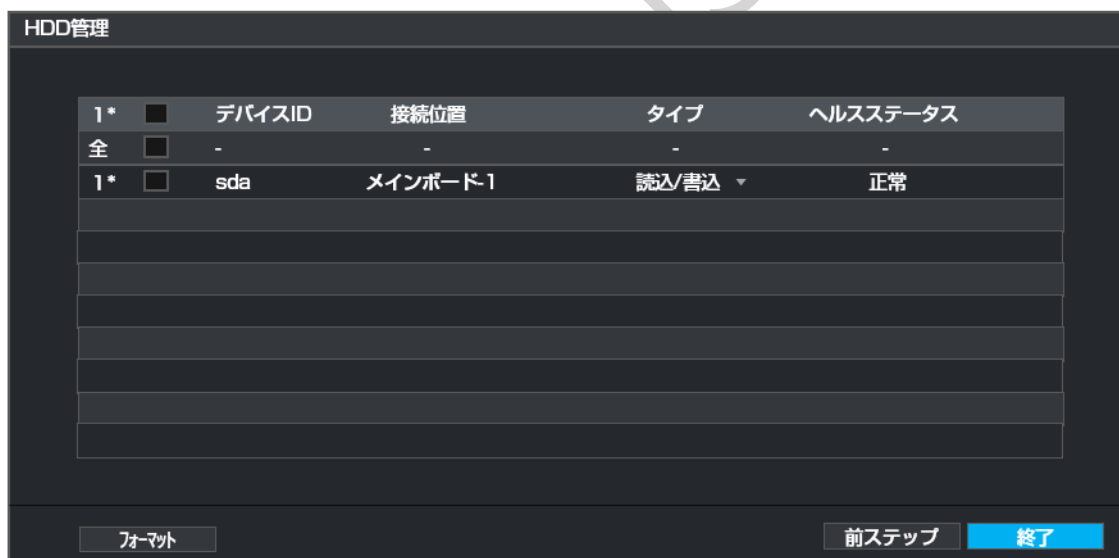
ステップ 11 P2P を設定し[次ステップ]をクリックします。

図 1-8 P2P 設定



- ステップ 12 HDD 管理を設定し[終了]をクリックします。  
HDD の初期化をする場合は、HDD を選択した状態で[フォーマット]をクリックします。

図 1-9 P2P 設定



### 1-3 ネットワークの設定

IP バージョン、IP アドレスなどの基本的なネットワーク設定を構成できます。

- ステップ 1 [メインメニュー] > [ネットワーク] > [TCP/IP] を選択します。  
ステップ 2 [編集] からパラメータを設定します。


**!** スタートアップウィザードでネットワークパラメータを構成することもできます。



図 1-10 TCP/IP



表 1-2 TCP/IP パラメータ

パラメータ	説明
IP バージョン	[IP バージョン] リストで、IPv4 または IPv6 を選択できます。どちらのバージョンもアクセスがサポートされています。
MAC アドレス	NVR の MAC アドレスが表示されます。
DHCP	DHCP 機能を有効にします。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト DHCP が有効になると、ゲートウェイを設定できなくなります。 ● DHCP が有効な場合は、取得した情報が表示されます。IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ。そうでない場合すべて値は 0.0.0.0 を示します。 ● PPPoE 接続に成功すると、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルト ゲートウェイと DHCP は構成に使用できません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・IP アドレス</li> <li>・サブネットマスク</li> <li>・デフォルトゲートウェイ</li> </ul>	IP アドレスを入力し、対応するサブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。   IP アドレスとデフォルトゲートウェイは同じネットワークセグメント内にある必要があります
プライマリ DNS	DNS の IP アドレスを入力します。
セカンダリ DNS	代替 DNS の IP アドレスを入力します。

MTU	<p>ネットワークカードの値を入力します。値の範囲は 1280 バイトから 1500 バイト。デフォルトは 1500 です。</p> <p>推奨される MTU 値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1500: イーサネット情報パッケージの最大値。通常、PPPoE または VPN 接続がない場合は値が選択されます。</li> </ul> <p>また、これは一部のルーターやネットワークアダプターのデフォルト値でもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1492: PPPoE 用に最適化された値。</li> <li>● 1468: DHCP 用に最適化された値。</li> <li>● 1450: VPN 用に最適化された値。</li> </ul>
テスト	<p>「テスト」をクリックして、入力した IP アドレスとゲートウェイが正しいかどうかをテストします。</p>

ステップ 3 [OK] をクリックします。

## 1-4 IP カメラの追加

検索結果または手動で IP 情報を入力して、IP カメラを追加できます。  
追加するカメラは、NVR と同じネットワークセグメント内に存在する必要があります。

### 1-4-1 Wi-Fi シリーズ IP カメラの接続

新しいカメラ、または工場出荷時のデフォルトに復元した後にカメラを接続する方法です。

ステップ1 NVR に Wi-Fi シリーズカメラを接続します。

ステップ2 120 秒ほど待つと自動で接続されます。

ステップ3 ライブ画面で右クリックし、メニューから[ワイヤレスペアリング]をクリックし、ペアリングが成功するとカメラのシリアル(デバイス SN)が表示されカメラ映像が映し出されます。

(図 1-7~1-8 参照)

※カメラと AC アダプタは必ず接続してください。AC アダプタを接続しないとカメラは稼働しません。

●Wi-Fi シリーズ IP カメラは接続すると WiFi IP アドレスが自動で「22.1.1.10～」が付与されます。

接続前であれば付与される WiFi IP アドレスを事前に変更することが可能です。(図 1-13 参照)

設定方法:メインメニュー[ネットワーク設定]>[WiFi AP]>[拡張設定]>[適用]

図 1-11 ワイヤレスペアリング

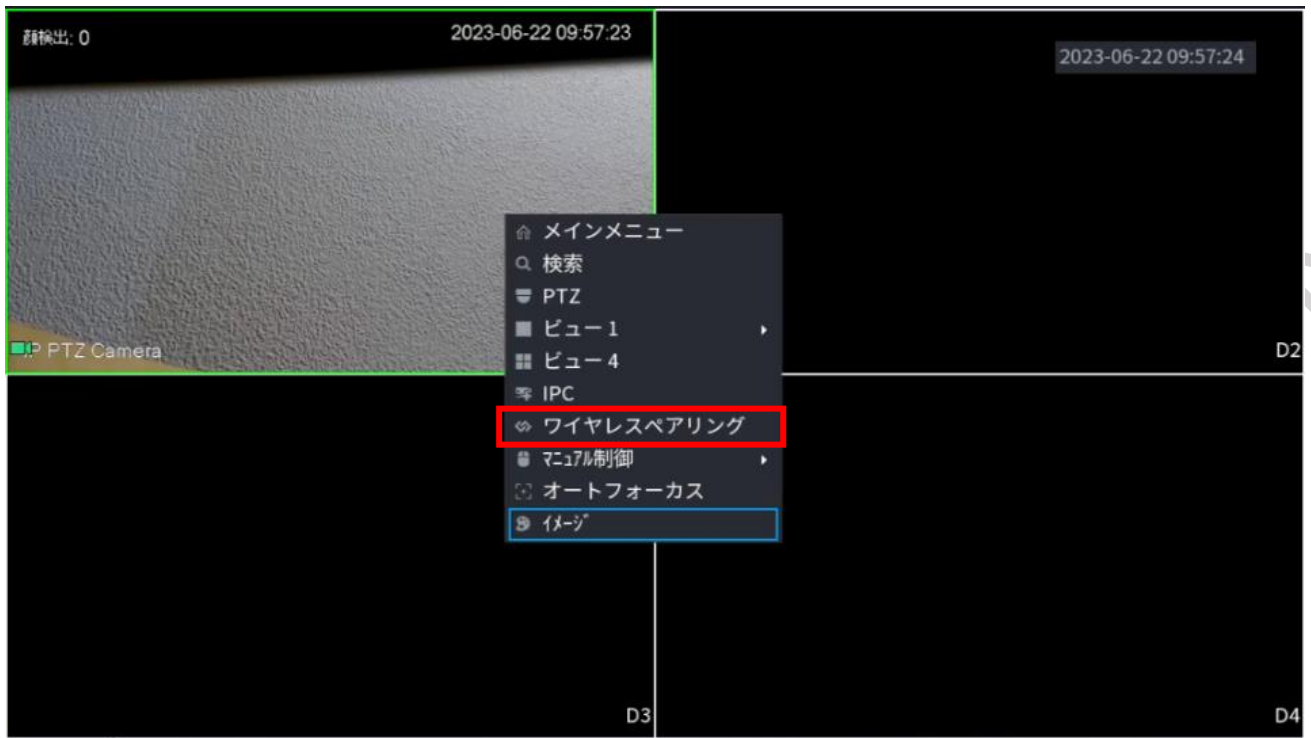


図 1-12 ワイヤレスペアリング待機画面

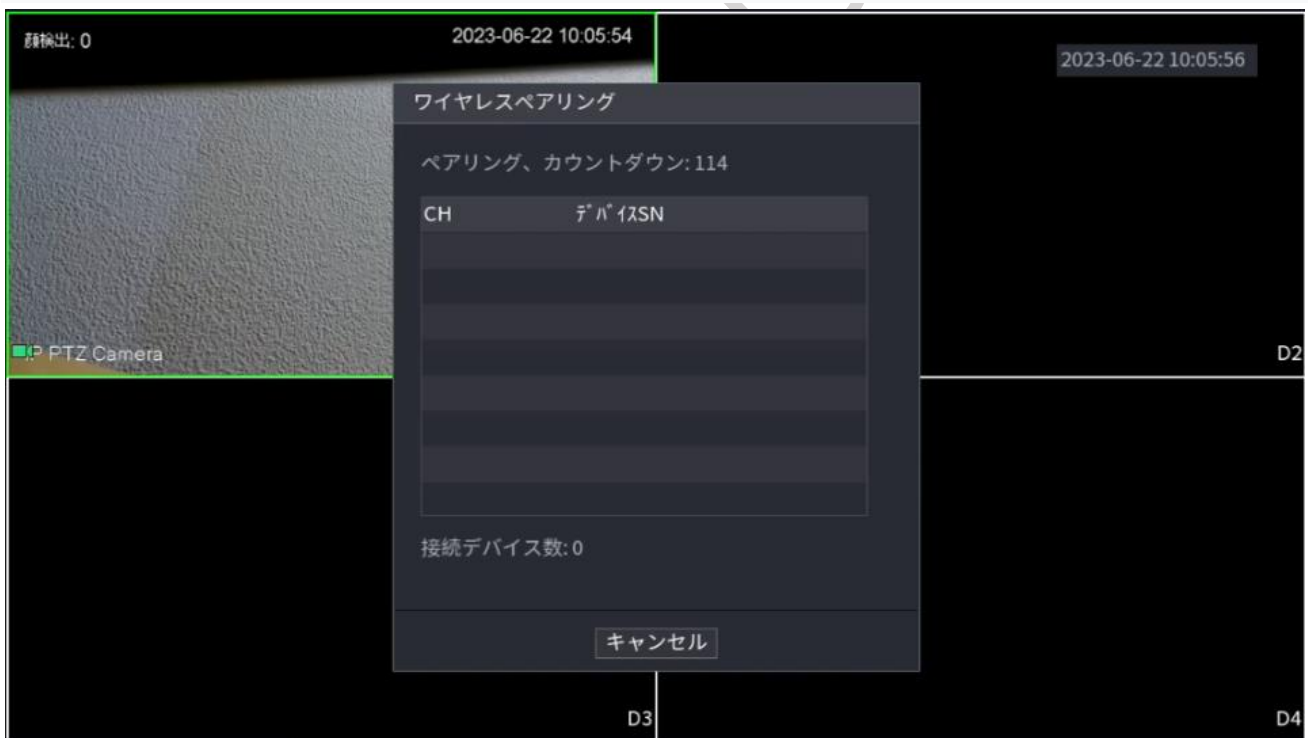


図 1-13 WiFi IP アドレスの変更



**!** Wi-Fi シリーズ IP カメラが繋がらない場合

- ① ワイヤレスペアリングをする(1-4-1/3-1 参照)
- ② アンテナの向きを変える
- ③ 設置場所や環境を変える(電波干渉をしていないか)
- ④ IPC・NVR を初期化する
- ⑤ SSID を入力する(1-4-4 参照)

**!** カメラランプの点灯について

ワイヤレスペアリング中カメラのインジケータランプが点灯します。  
ワイヤレスペアリング失敗し、緑点滅・赤点滅を繰り返した場合、カメラの再起動後、再度ペアリング操作をおこなってください。



ランプ	状態
赤点灯	カメラ起動中
赤点滅	ペアリング失敗
緑点灯	ペアリング中
緑点滅	カメラ起動

## 1-4-2 IP カメラの初期化

ハブ経由の工場出荷時の有線 IP カメラ、またはデフォルト状態の有線 IP カメラなどを初期化する方法を示します。

**!** NVR に直挿し、もしくは PoE ポート経由でカメラを NVR に接続すると、NVR は自動的に NVR のパスワードと電子メール情報を登録します。

ステップ 1 [メインメニュー] > [カメラ] > [IPC] を選択します。

ステップ 2 [非初期化] を有効にし、[デバイスの検索] をクリックします。

図 1-14 未初期化デバイスの検索



ステップ 3 初期化するカメラを選択し、[初期化] をクリックします。

図 1-15 カメラの初期化



- ステップ 4      パスワードと電子メール情報を IP カメラに適用します。[現在のデバイスのパスワードと電子メール情報を使用する] を選択し、「次ステップ」をクリックします。

図 1-16 デバイス設定の適用



### ⚠ パスワードと電子メール情報を手動で設定する方法

1. [現在のデバイスのパスワードと電子メール情報を使用する]のチェックを外し[次ステップ]をクリックします。
2. パスワードを設定します。
3. 「次へ」をクリックします。
4. 電子メールアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

ステップ 5 カメラの IP アドレスを設定します。

DHCP サーバーが導入されている場合は、DHCP を選択します。

[静的]を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。

複数のカメラの IP アドレスを一度に変更する必要がある場合は、[増分値]を設定します。

図 1-17 IP アドレスの構成

カメラ IP変更

選択デバイスNo: 1

画像  DHCP

オーバー  固定IP

エンコー IPアドレス 192 . 168 . 1 . 109 増分値 1

チャンネル サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ 192 . 168 . 1 . 1

1	シリアル番号	IPアドレス
1		192.168.1.109

保存 キャンセル

ステップ 6 [保存] をクリックします。初期化が完了するまで 1~2 分待ちます。

### 1-4-3 検索結果による IP カメラの追加

ハブ経由の有線 IP カメラなどを初期化する方法を示します。

ステップ 1 [メインメニュー] > [IPC] > [デバイスの検索]をクリックします。

図 1-18 検索デバイス



ステップ2 IP カメラを追加します。

- **ダブルクリックで追加:** 対象カメラをダブルクリックして、追加デバイスリストに追加します。検索結果から一度に追加できるカメラは 1 台だけです。
- **チェックボックスで追加:** ターゲットカメラのチェックボックスを選択し、「追加」をクリックして追加します。追加されたデバイスのリストに追加されます。
- **追加されたカメラのステータスが緑色 (●) の場合、**カメラが正しく追加されていることを示します。
- **追加したカメラのステータスが赤色 (●) の場合は、**カメラ間の接続に失敗していることを示します。パスワード、プロトコル、チャンネルなどのカメラのパラメータを確認します

### 1-4-4 IP カメラを手動で追加する

IP 情報により IP カメラを追加できます。Wi-Fi シリーズ IP カメラは、NVR の SSID を設定します。

- **IP カメラ (Wi-Fi シリーズカメラ以外の機種)**

ステップ 1 [メインメニュー] > [IPC] > [マニュアル追加]をクリックします。



図 1-19 手動追加ステップ



ステップ2 [マニュアル追加]ダイアログボックスで、パラメータを設定します。

図 1-20 手動追加パラメータの構成

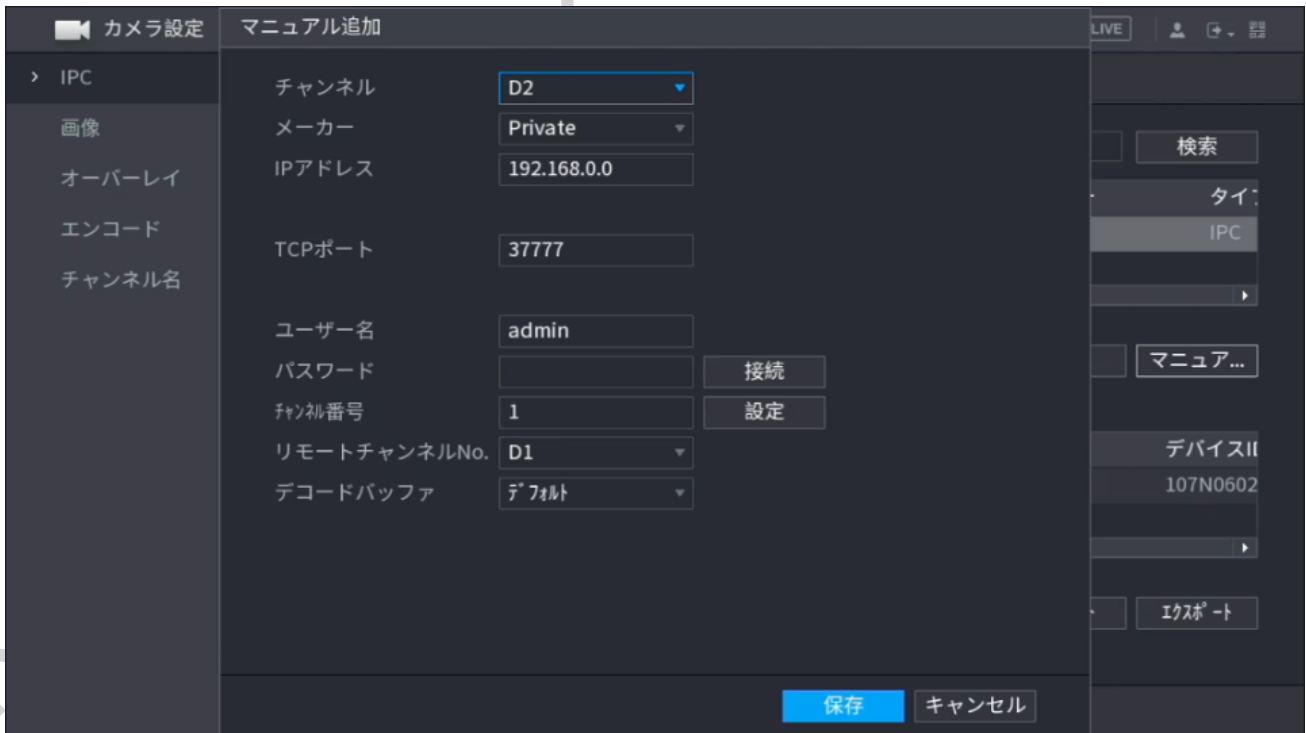


表 1-4 手動追加パラメータ

パラメータ	説明
チャンネル	ドロップダウンリストから、使用するチャンネルを選択します。
メーカー	ドロップダウンリストから、製品の製造元を選択します。
IP アドレス	フィールドに、カメラの IP アドレスを入力します。 デフォルト値(192.168.0.0)。
RTSP ポート	デフォルト値は 554 です。必要に応じて値を変更できます。
HTTP ポート	デフォルト値は 80 です。必要に応じて値を変更できます。 別の値、たとえば 70 を入力した場合は、ブラウザで NVR にログインするときに IP アドレスの後に 70 を入力する必要があります。
TCP ポート	デフォルト値は 37777 です。必要に応じて値を変更できます。
ユーザー名	リモートデバイスのユーザー名を入力します。
パスワード	リモートデバイスのユーザーのパスワードを入力します。
チャンネル番号	追加するリモートデバイスのリモートチャンネル番号を入力します。
デコードバッファ	リストで必要に応じて[デフォルト]、[リアルタイム]、[スムーズ] を選択します。
プロトコルタイプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IP カメラがプライベートプロトコルを通じて追加される場合は、TCP を選択します。</li> <li>● IP カメラが ONVIF プロトコルを介して追加された場合、自動、TCP、UDP、またはマルチキャスト。</li> <li>● 他のメーカーの IP カメラを追加する場合は、TCP または UDP を選択します。</li> </ul>
暗号化	IP カメラが ONVIF プロトコルを介して追加された場合、暗号化を有効にします。 チェックボックスをオンにすると、送信されるデータに暗号化保護が提供されます。

ステップ 4 [OK]をクリックします。

#### ●Wi-Fi シリーズ IP カメラ

ステップ 1 [メインメニュー] > [ネットワーク設定] > [WiFi AP] > [一般設定]を開き、[SSID]と [パスワード]を確認します。

図 1-21 手動追加パラメータの構成(WEB ブラウザ画面)

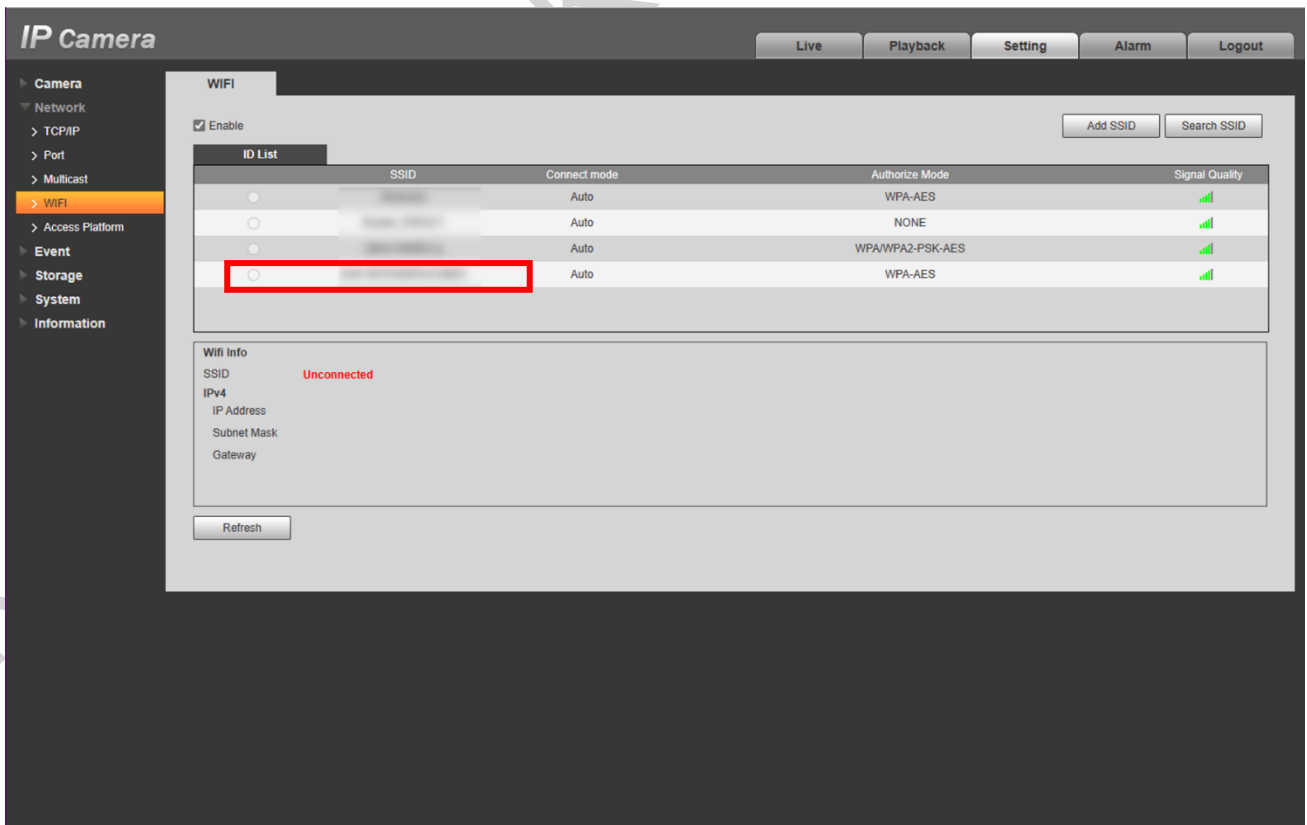


ステップ2 接続したい Wi-Fi シリーズ IP カメラに WEB ブラウザからログインします。

※初期化が終わっていない場合は、案内に従って初期設定をします。

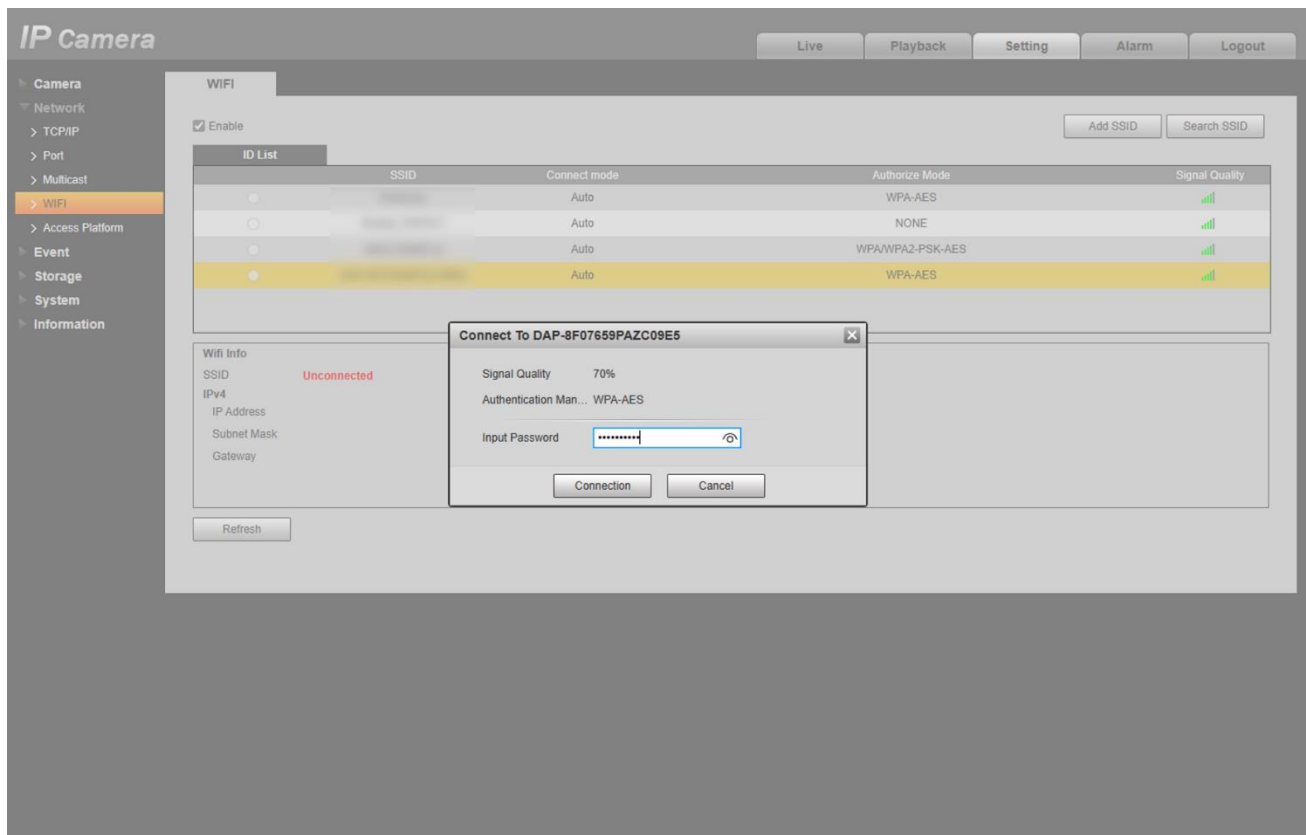
ステップ3 Setting>Network>WIFI の画面を開き、ステップ1で確認した SSID をダブルクリックします。

図 1-22 SSID 設定画面(WEB ブラウザ画面)



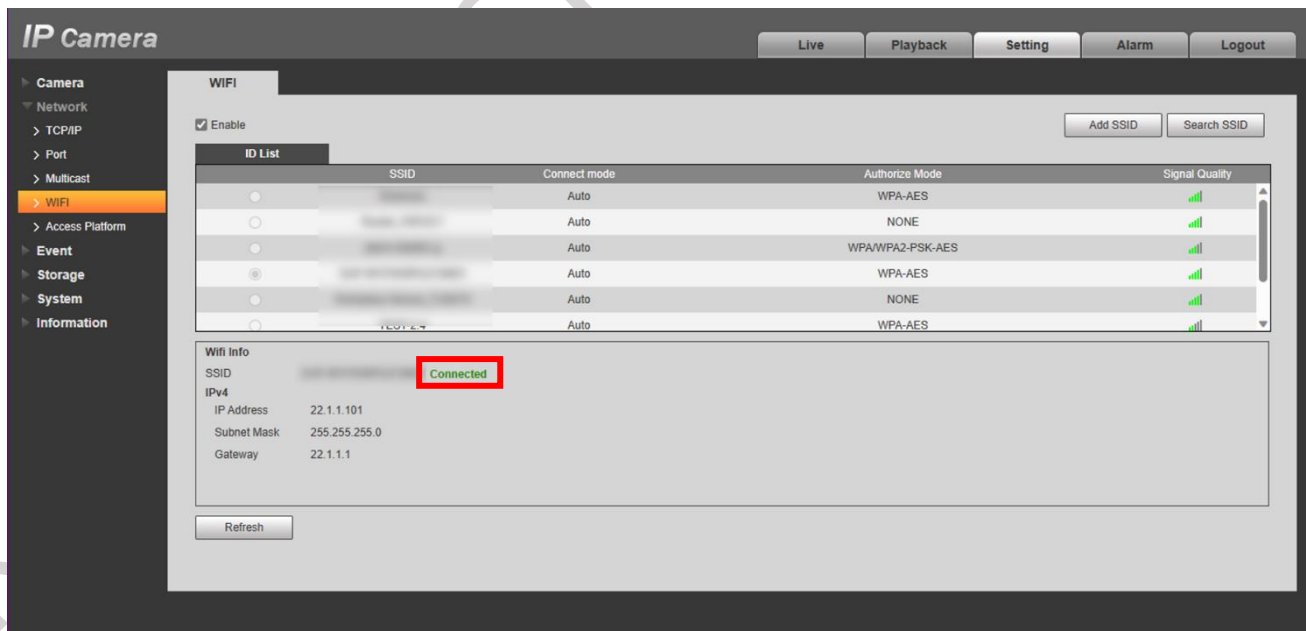
ステップ4 パスワードを入力します。

図 1-23 パスワード入力(WEB ブラウザ画面)



ステップ5 接続(Connected)を確認します。

図 1-24 (WEB ブラウザ画面)



※接続状態(Connected)なのにライブ映像が表示されない場合は、NVR の登録済みのカメラを削除して再登録すると改善される場合があります。

## 1-5 録画ビデオの保存スケジュールの構成

デフォルトでは、すべてのカメラは 24 時間継続的にビデオを録画します。必要に応じて設定を変更できます。

ステップ 1 [メインメニュー] > [ストレージ] > [スケジュール] > [録画] を選択します。


図 1-25 録画スケジュール




ステップ 2 パラメータを設定します。

表 1-5 レコードパラメータ

パラメータ	説明
チャンネル	ドロップダウンリストから、ビデオを変更するチャンネルを選択します。
プレレコード	イベント発生時の事前録画。値の範囲:0~30 秒
冗長性	<p>HDD の 1 つを冗長 HDD として設定し、録画したファイルを別の HDD に保存できます。HDD に障害が発生した場合でも、冗長 HDD にバックアップ録画を見つけることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メインメニュー&gt;ストレージ&gt;ディスクマネージャーを選択し、HDD を冗長 HDD として設定します。</li> <li>●メインメニュー&gt;ストレージ&gt;スケジュール&gt;録画を選択し、[冗長性] チェックボックスをオンにします。</li> </ul> <p>◇ 選択したチャンネルが録画中でない場合、冗長機能が働きます。チェックを選択しても次回録画時に有効になります。</p> <p>◇ 選択したチャンネルが録画中の場合、現在録画されているファイルがバックされ、新しいスケジュールに従って録画が開始されます。</p>

	<p> この機能は一部のモデルで利用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 冗長 HDD は録画したビデオのみをバックアップします。スナップショットは冗長録画しません。</li> </ul>
イベントタイプ	<p>イベントの種類をチェックボックスをオンにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般: 一般録画とは、NVR がすべてのビデオを録画することを意味します。指定された時間枠。一般録画は緑色で表示されます。</li> <li>● モーション: モーション録画とは、モーション検出がトリガーされたときのみを録画することを意味します。モーションレコーディングは黄色で表示されます。</li> <li>● アラーム: アラーム録画とは、アラームが発生したときに NVR がビデオを録画することを意味します。アラーム録画は赤色で表示されます。</li> <li>● M&amp;A: モーション録画とアラームを組み合わせた M&amp;A 録画。デバイスは、動体検知またはアラームがトリガーされた場合に録画します。M&amp;A 記録はオレンジ色で表示されます。</li> <li>● インテリジェント: インテリジェント録画とは、スマート検出がトリガーされたときのみを録画することを意味します。インテリジェントレコーディングは青色で表示されます。</li> <li>● POS: POS 録画とは、POS が開始されたときに NVR がビデオを録画することを意味します。POS 録画は紫色で表示されます。</li> </ul>
期間	<p>構成された録画設定がアクティブになる期間を定義します。システムは、定義された期間内にのみアラームを開始します。</p>
コピー先	<p>設定を他のチャンネルにコピーするには、「コピー先」をクリックします。</p>

ステップ 3 描画または編集してスケジュールを設定します。

- 描画: マウスの左ボタンを押したままマウスをドラッグして、期間を描画します。
- 編集:  をクリックして期間を設定し、「OK」をクリックします。

ステップ 4 「適用」をクリックします。

設定された録画スケジュールは、自動録画機能がオンになっている場合にのみ有効になります。自動録画を有効にする方法については、フルマニュアルを参照してください。

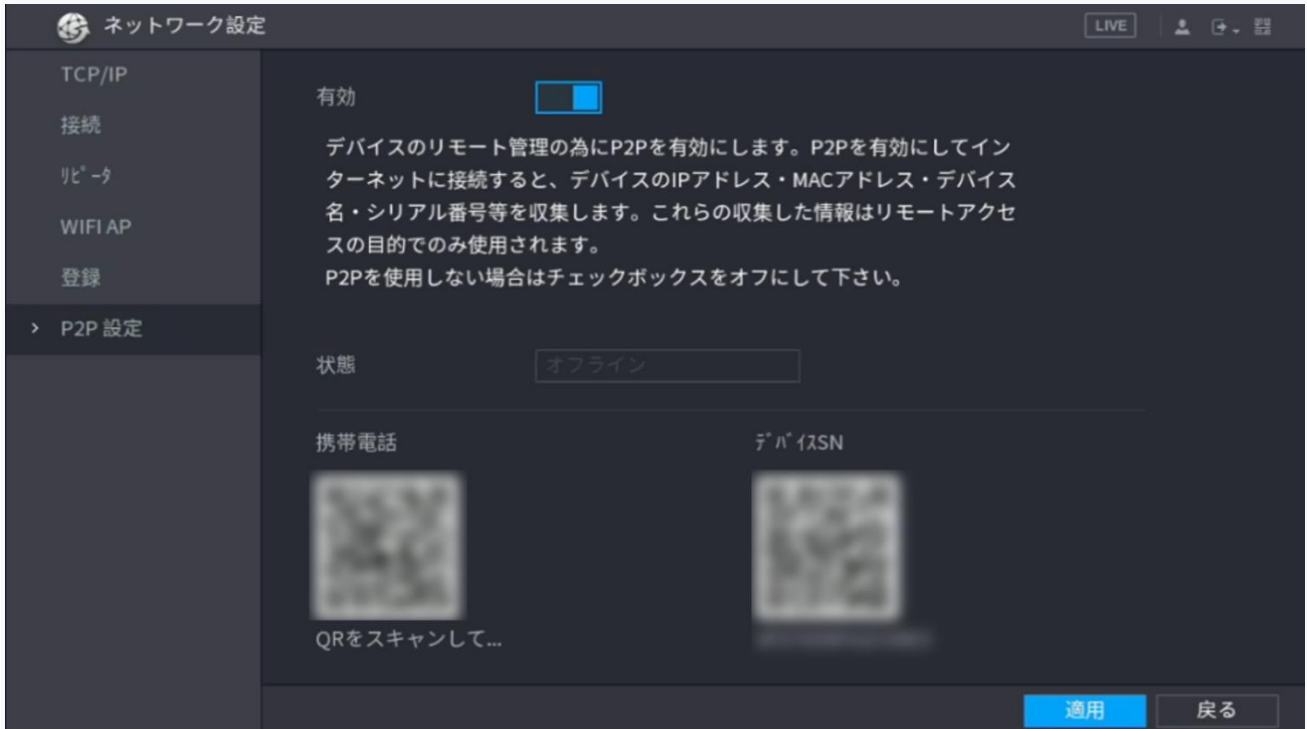
## 1-6 P2P 設定の構成

QRコードを使用してスマートフォンを NVR に接続して管理できます。

### 1-6-1 P2P 機能

ステップ 1 メインメニュー>[ネットワーク設定]>[P2P 設定]を開きます。

図 1-26 P2P 設定



ステップ 2 [有効にする] をクリックして、P2P 機能を有効にします。

※状態が「オンライン」になっていることを確認します。

ステップ 3 [適用] をクリックします。

### 1-6-2 DMSS(スマホ専用アプリ)に追加する

ステップ 1 DMSS を開き、右上の[+]>[SN/スキャン]をタップします。

ステップ 2 製品のシリアルコードを読み込みます。

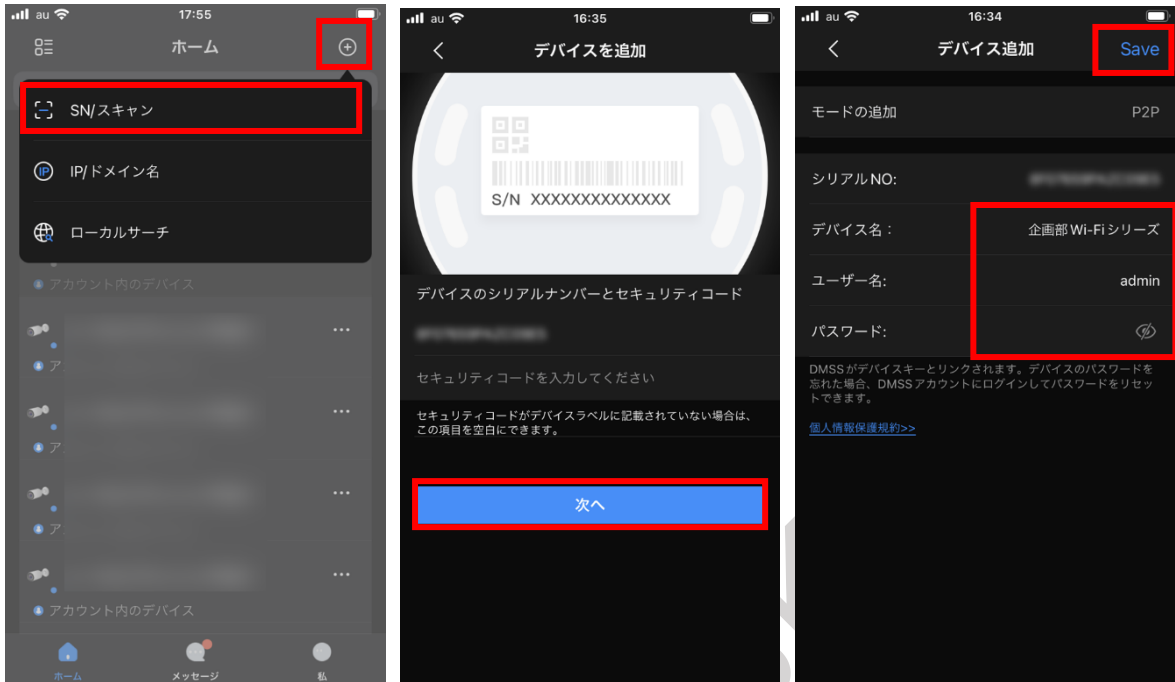
- ・P2P 設定画面のデバイス SN の QR コードを読み込む(1-6-1 参照)

- ・シリアルコードを手入力する(製品外箱に記載)

ステップ 3 [次へ]をタップし、デバイスを追加画面で[NVR]を選択します。

デバイス名(アプリ表示名)、ユーザー名・パスワード(製品に登録したもの)を入力し、右上の[Save]をタップします。

図 1-27 デバイスの追加(DMSS 操作画面)



- ステップ4 時間帯設定は[(UTC+09:00)Osaka,Sapporo,Tokyo]を選択し[次]をタップします。
- ステップ5 デバイスを追加画面で[UPnP]の設定をし、別のデバイスを追加する場合は[チャンネル追加]をタップ、なければ[ホームページに進む]をタップします。
- ステップ6 ライブ映像が映っていることを確認し、デバイスの登録は完了です。

図 1-28 ライブビューの開始(DMSS 操作画面)

